

「知」と「ひと」が、未来を拓く。

We create, we revitalize.

金沢大学は、令和6年能登半島地震により大きな被害を受けた能登地域の復旧・復興の推進に資するため、2024年1月30日に「能登里山里海未来創造センター」を設置しました。本学は、これまでも能登半島をフィールドとして、豊かな里山里海の自然を生かした多様な教育研究活動を展開してきました。石川県に立地し、能登半島に深いつながりをもつ総合大学として、各自治体や関係機関と連携し、能登の創造的復興に向けて取り組んでいきます。

能登里山里海未来創造センターでは、総合大学である強みを活かした文理医の融合、教職員と学生の「オール金沢大学」の体制で、中長期的な視点で「地震・災害に強く安全・安心で、だれもが住みよい、文化薫る地域・まちづくりとひとづくり」に寄与し、被災地に寄り添い、自治体等と協働し震災からの復旧・復興及び支援に全力を尽くします。



MESSAGE

能登とともに、未来をつくる

金沢大学長
和田 隆志



令和6年能登半島地震及び令和6年奥能登豪雨により、亡くなられた方々に哀悼の意を表するとともに、被災された全ての方々に、心よりお見舞いを申し上げます。被災された皆様が一日も早くおだやかな元の生活に戻ることができますようお祈り申し上げます。

金沢大学は、能登そして日本の未来を創造していくという決意のもと、令和6年1月30日に「能登里山里海未来創造センター」を設置しました。被災地である石川県内の総合大学として、本学の英知を結集し、「地震・災害に強く安全・安心で、誰もが住みよい、文化薫る地域・まちづくりとひとづくり」に寄与することを目的としています。研究、医療や福祉、そして教育、あらゆる分野において、教職員と学生が一体となり、被災地の復旧・復興と再建、継続的發展を強力に推進いたします。引き続きご理解とご支援を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

美しい能登を、 希望とともに次の世代へ

能登里山里海未来創造センター長
谷内江 昭宏



能登半島は、豊かな文化と壮大な自然、美しい里山里海に象徴される地域です。金沢大学にとって、長きにわたって連携してきたパートナーであり、教育研究のフィールドであり、わたしたちのかけがえのないふるさとでもあります。

令和6年能登半島地震が能登にもたらした被害は甚大で、多くの課題を浮き彫りにしました。これらの課題の解決に資するため、能登里山里海未来創造センターは、能登の市町、県や関係機関と連携し、研究、教育、医療、社会共創、あらゆる分野で新たな未来の創造に寄与していきます。

いま直面している課題を克服し、災害に強いまちづくりや地域コミュニティの在り方、再生を考える——少子高齢化が進む災害大国の日本にとって、これから能登が歩む復興への長い道のり、能登の復興そのものが、次世代への希望です。美しい能登を、希望とともに次の世代に繋いでいくために、ご理解とご支援をよろしく願います。